

穴戸 義美

(民主クラブ)

5区山部線の歩道設置は

問 山部19線から20線にかかる市道は通過車両が多く危険。歩道の設置が必要ではないか。

答 補助事業による設置協議を進めてきたが、基準の交通量等が少ないことや採択条件が一層厳しく新規事業は難しい。

山部川橋の改築計画は

問 山部川橋は現在、車両通行止めとしているが橋の改築構想を明らかにすべきではないか。

答 協議を進めている。認可になれば約2年間で改築をする。

市有物件の利活用計画は

問 旧厚生病院跡地と寿光園跡地の活用は、住民の意向を尊重し検討しているが、現在どのように対応しているのか。

答 旧厚生病院跡地に現在のさくら公園を移す。寿光園跡地は移住者対策・企業誘致等含め地区協議会と協議検討を進める。



放課後子ども教室

放課後の子ども教室事業は

問 教育法が改正され子ども達の能力を伸ばすために、放課後の子ども教室事業が実施されているが、進捗状況を伺う。

答 山部と東山を対象として実施。山部は体育館の完成に伴い週5日間、樹海小学校では週1回実施し、地域の輪と教育力も高まっている。

学校事業での猛暑対策は

問 例年がない猛暑で子ども達も健康管理が大変。保健室に小規模冷房設備が必要ではないか。

答 各学校の暑さ対策の状況調査を進め、校長や養護教諭の意見を聞き検討する。

天日 公子

(民主クラブ)

看護専門学校への推薦入学は

問 入学定員が30名になってからの推薦入学の現状とその効果は。

答 公立・私立の8校を推薦入学指定校としている。23年度推薦入学予定者は17名。人物、学業の面において優秀で可能性豊かな学生をより早い時点で確保できることが利点。

富良野高校からの入学は。

答 平成21年度5名、平成22年度8名、平成23年度予定者8名。富良野高校としても十分な理解のもとに優秀な生徒を選考し推薦しているものと考ええる。

修学資金貸付拡大は

問 平成18年に患者7人に看護師1名と配置基準が変わり看護師が足りない。455人の卒業生の内、121人が市内病院に就職している。19年度3名、20年度8名、21年度12名と推移。看護師の育成確保に対応するた

めに富良野市の修学資金貸し付け人数枠の拡大はできないか。

答 条例で「予算の範囲内で貸し付けの可否を決定し」と規定されており、今後、貸付を希望する学生に可能な限り対応することができるよう配慮したい。

公衆浴場存続の取り組みは

問 公衆浴場の存続をどのようにとらえているか。

答 地域住民の保健衛生上必要不可欠。お風呂のない公営住宅も多いことから、将来とも必要な施設であると認識している。

今後の取り組みの方向性は。

答 現在継続の確認をしているので、経営が苦しくなった段階で改めて方向性の検討を進める。



市内唯一の公衆浴場